

1. 調査報告概要表

【評価実施概要】

事業所番号	0272400821
法人名	有限会社ケアサービスたんぼぼ
事業所名	グループホームたんぼぼ
所在地 (電話番号)	〒037-0202 青森県五所川原市金木町字芦野200-269 (電話) 0173-54-2785

評価機関名	社団法人青森県老人福祉協会		
所在地	〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ3階		
訪問調査日	平成21年10月1日	評価確定日	平成21年12月1日

【情報提供票より】(平成 21年 9月 10日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 17年 1月 20日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	11 人	常勤	8人, 非常勤 3人, 常勤換算 5.4人

(2) 建物概要

建物構造	木造 造り
	1階建ての 階 ~ 1階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	9,000 円	その他の経費(月額)	3,000 ~ 冬期6,000 円
敷金	有(円)	(無)	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	250 円	昼食 350 円
	夕食	300 円	おやつ 100 円
	または1日当たり 1,000 円		

(4) 利用者の概要(9月 10日現在)

利用者人数	9 名	男性	1 名	女性	8 名	
要介護1		名	要介護2	3	名	
要介護3	2	名	要介護4	4	名	
要介護5		名	要支援2		名	
年齢	平均	84 歳	最低	78 歳	最高	95 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	公立金木病院
---------	--------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

<p>旧金木町芦野公園の一部、公園特別景観区域にあり、入居者の憩いの場所となっている。敷地内にはグループホームの他通所介護、訪問介護、居宅介護支援事業所、有料老人ホーム、高齢者共同住宅がある。ホーム内は落ち着いた雰囲気とゆったりした広さのリビングルームとなっている。管理者が看護師ということもあり、平行棒など機能訓練のスペースもとっている。職員の異動もなく入居者と馴染みの関係を継続している。</p>
--

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>運営推進会議は2カ月に一度実施されている。前回出来なかった成年後見制度の学習会に参加した職員が、全職員に資料を配付し伝達されている。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>職員全員で自己評価を実施し、全体会議で個々の項目について改善策など話し合い、サービスの向上に向けた取り組みをしている。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>運営推進会議で防災関係等の課題について検討している。ホーム近隣に消火栓がないという指摘に基づき、入居者の安全を考え家族とともに市の方に早期の消火栓設置を要望している。外部評価の実施結果の報告やその改善点の取り組みについても話し合っている。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部10, 11)</p> <p>契約時は、ゆっくりやさしい言葉で説明をし、入居後も料金などの質問があれば、いつでも説明し理解を得ている。来訪時家族から意見や要望を頂いているが来訪のない家族には、電話や手紙、ホームだよりにより近況を報告して意見を頂き、運営に反映している。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>団地の町会に入り、町会の活動に参加している。地域の方がボランティアでホーム敷地内の草取りや花植えなど定期的に行ってくれ、いつもきれいな環境を保持している。</p>

2. 評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域密着型サービスとして現状に合うよう平成20年に見直ししている。運営理念を職員と一緒に作り、利用者一人一人が役割をもって暮らせるよう独自の理念をつくりあげている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	つくった理念をどう展開するか、職員はひとりひとりに合ったプランで実施出来る取り組みをしている。		
2. 地域との支えあい					
3	4	隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	団地の町会に入り、町会活動に参加している。ホーム内で年2回避難訓練を行っているが、10月には、太宰治生誕100周年記念で市の防災訓練があり参加の予定である。運営推進会議のメンバーが認知症のミニ講座を開催しており、近隣の老人クラブの方も参加して、認知症の普及に一役買っている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	5	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	管理者は自己評価や外部評価をする事の意義をスタッフに説明し理解して自己評価を実施し、職員会議で改善出来る所を話し合いながら改善に取り組んでいる。		
5	6	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議には、民生委員、家族会代表、地区の行政委員、在宅介護支援センターの職員、老人クラブ代表で構成され、利用者の状況、サービスの内容、外部評価の結果など報告し、アドバイスを頂き、サービス向上に生かしている。		
6	7	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市町村担当者には、運営推進会議の報告をしたり、諸手が分からないときは相談に行ったりと普段から協力関係を構築し、問題解決に向けて取り組んでいる。		
7	8	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	権利擁護事業や成年後見制度については、ホーム内で勉強会を開いているので職員も理解しており、必要な時には活用出来るように支援している。		
8	9	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待防止の研修に参加し、事例を通して学び、日頃のケアで虐待を見逃さないよう職員同士の声かけを行い注意を払って防止に努めている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
9	10	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約時はわかりやすく説明し、疑問点を尋ねながら理解と納得を得られるようにしている。</p>		
10	12	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>一ヶ月に一回利用者の健康状態と生活状況を面会時や電話等で報告している。金銭管理はかかった分はホームで立て替えをする契約をしており、一ヶ月毎に精算し帳簿を家族に確認してもらい印を頂いている。</p>		
11	13	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族の面会時に意見を頂き、不満、要望等があるときは意見箱に投函出来る事を説明し、意見は運営に反映させるようにしている。</p>		
12	16	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>現在まで離職者はいないが、もし育児休業や介護休暇が出た場合には、その旨を家族に説明し、入居者にはダメージを受けないような配慮、支援を行っている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
13	17	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>ホーム外の研修には職員が順番に出席している。ホーム内では資格取得者や経験年数によって研修計画を立て、無資格者には研修参加を勧め、資格取得を促している</p>		
14	18	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>西北五のグループホーム協会の研修会に参加し交流を図っている。また市内のグループホームの空き情報を交換しあい、サービスの向上に向けた取り組みをしている。</p>		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
15	23	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>家族から普段の生活習慣を聞き、好きな事を本人の納得いくように職員と一緒に言いながら、場に馴染んで頂けるよう支援している。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
16	24	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>職員は入居者の体験談を聞きながら、一緒に共感して、感嘆したり、笑ったり、入居者の持っている知恵を職員が学ばせて頂くという姿勢でお互い支え合う関係を築いている。</p>		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
17	30	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	一人一人の思いや希望を聞き、本人の意向に沿ってセンター方式の記録に残し、本人が望む生活に近づくように支援している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
18	33	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	センター方式の記録を活用し、アセスメントを行い、サービス担当者会議で検討した介護計画は家族に説明している。本人、家族の思いが反映されているか、確認した上で作成するよう立案して支援している。		
19	34	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	期間内に見直しをして、変更が必要な場合は随時家族及び関係者と話し合い、現状に即した介護計画を作成している。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
20	36	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	一時帰宅するときや冠婚葬祭時など、家族が来れない場合であっても、ホームの車両を使い送迎し柔軟に対応して支援している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
21	40	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医を継続して利用出来るように配慮し、適切な医療を受けられるように支援している。		
22	44	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合や終末期のあり方についての方針がある。状態変化のたびに家族、かかりつけ医、職員で繰り返し話し合いを行い、全員で方針を共有している。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
23	47	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員は入居者一人一人の誇りやプライバシーを損ねないように、言葉かけや対応に配慮している。個人情報の取り扱いについては、個人記録等はキャビネットに保管している。		
24	49	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	日々のスケジュールはあるが、一人一人の体調等に配慮しながら、長年続けている習慣に合わせ、その時々合わせた支援をしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	51	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	野菜や山菜などの下ごしらえ、食器やトレー拭きなど出来る事を一緒に行い、食事も同じものを一緒に食べ会話をしながら楽しい食事場면을支援している。		
26	54	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	週2回入浴日を設けているが、入居者の状態に合わせてタイミングをとり、温度も好みの温度に設定している。時には入浴剤を使用して楽しみながら、入浴できる支援をしている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	56	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	一人一人の生活歴から得意なものを把握し、ぞうきん縫いや菊の花の料理下ごしらえなど、それぞれ役割として張り合いを持って、楽しめるよう支援をしている。		
28	58	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	すぐ隣の公園に散歩に行ったり、近くのスーパーへ買い物に行くなど、希望に添って戸外に出かける支援をしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4)安心と安全を支える支援					
29	62	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>動きの活発な入居者の家族に了解を得て腰ベルトとベットセンサーを使用している。出来るだけ使用時間を短くして身体拘束のないケアに努めている。</p>		
30	63	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	<p>運営者や職員は鍵をかける事の弊害を理解し、日中は玄関に鍵をかけないケアに取り組んでいる。</p>		
31	68	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>年2回の避難訓練を実施している。そのうち一回は地元消防署立ち会いで行っている。近隣の住民や町会長には協力依頼をしている。</p>		<p>地元の協力関係がよいという事でしたので、是非訓練に参加を呼びかけ、ホームの入居者の避難方法を一緒に支援出来るよう働きかける事が望ましい。</p>
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
32	74	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>栄養士が立てた献立に基づいて調理をしている。献立会議では管理者、ケアマネ、介護スタッフ、栄養士などでバランスよく献立を立て食事を提供している。水分は一人一人チェックをし状態に合わせて支援している。</p>		
33	75	<p>感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>	<p>ホーム内の感染症対策はマニュアルに沿って手指消毒、うがいを徹底し、来訪者には玄関で出入りの際手指消毒に協力して頂き、インフルエンザ発生時には来訪を制限をしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p>					
<p>(1) 居心地のよい環境づくり</p>					
34	78	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>過ごし場所には静かな音楽が流れて、共有空間は不快な音、臭気はなく、また外にはコスモスが満開で環境も整備され過ごし場所にも季節感あふれるはり絵など飾られ、ゆったり居心地よく過ごせる環境となるよう支援している。</p>		
35	80	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>元気な頃に作ったパッチワークや、その当時の写真など飾り、居心地の良い環境で過ごせるよう支援している。</p>		

 は、重点項目。